

平成 30 年 (H30.1.1-H30.12.31) 研究業績

五福キャンパス

センター長・教授	松井 祥子	Shoko Matsui
准 教 授	西村優紀美	Yukimi Nishimura
講 師	竹澤みどり	Midori Takezawa
看 護 師	角間 純子	Junko Kakuma
看 護 師	山田 真帆	Maho Yamada
看 護 師	牧野 節子	Makino Setsuko
カウンセラー (非常勤)	細川 祝	Iwai Hosokawa

松 井 祥 子

【著書】

- 1) 川野充弘、唐島成宙、松井祥子、赤水尚史. 内分泌疾患診療ハンドブック Ver.2. 横手幸太郎監修, 龍野一郎, 橋本尚武, 岩岡秀明編集. 東京: 中外医学社; 2018. IgG4関連疾患; p355-363
- 2) 松井祥子. サルコイドーシス診療の手引き 2018. サルコイドーシス診療の手引き作成委員会編集. サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会; 2018. 鑑別診断; <http://jssog.com/www/top/2018/2-6-7.pdf>
- 2) Mizushima I, Yamada K, Harada K, Matsui S, Saeki T, Kondo S, Takahira M, Waseda Y, Hamaguchi Y, Fujii H, Yamagishi M, Kawano M. Diagnostic sensitivity of cutoff values of IgG4-positive plasma cell number and IgG4-positive/CD138-positive cell ratio in typical multiple lesions of patients with IgG4-related disease. *Mod Rheumatol*. 2018;28:293-299.
- 3) Handa T, Matsui S, Yoshifuji H, Kodama Y, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Sato Y, Kubo K, Mimori T, Chiba T, Hirai T, Mishima M. Serum soluble interleukin-2 receptor as a biomarker in immunoglobulin G4-related disease. *Mod Rheumatol*. 2018;28:838-844.

【原著】

- 1) Wallace ZS, Khosroshahi A, Carruthers MD, Perugino CA, Choi H, Campochiaro C, Culver EL, Cortazar F, Della-Torre E, Ebbo M, Fernandes A, Frulloni L, Hart PA, Karadag O, Kawa S, Kawano M, Kim MH, Lanzillotta M, Matsui S, Okazaki K, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Tanasa P, Umehara H, Webster G, Zhang W, Stone JH. An International Multispecialty Validation Study of the IgG4-Related Disease Responder Index. *Arthritis Care Res (Hoboken)*. 2018;70:1671-1678.
- 4) Shirakashi M, Yoshifuji H, Kodama Y, Chiba T, Yamamoto M, Takahashi H, Uchida K, Okazaki K, Ito T, Kawa S, Yamada K, Kawano M, Hirata S, Tanaka Y, Moriyama M, Nakamura S, Kamisawa T, Matsui S, Tsuboi H, Sumida T, Shibata M, Goto H, Sato Y, Yoshino T, Mimori

T. Factors in glucocorticoid regimens associated with treatment response and relapses of IgG4-related disease: a multicentre study. *Sci Rep*. 2018 Jul 6;8(1):10262. doi: 10.1038/s41598-018-28405-x.

- 5) Matsui S. IgG4-related respiratory disease. *Mod Rheumatol*. 2018 Nov 24;1-10. doi: 10.1080/14397595.2018.1548089. [Epub ahead of print]
- 6) Wallace ZS, Zhang Y, Perugino CA, Naden R, Choi HK, Stone JH; ACR/EULAR IgG4-RD Classification Criteria Committee. Clinical phenotypes of IgG4-related disease: an analysis of two international cross-sectional cohorts. *Ann Rheum Dis*. 2019 Jan 5. pii: annrheumdis-2018-214603. doi: 10.1136/annrheumdis-2018-214603. [Epub ahead of print]

【総説】

- 1) 松井祥子. IgG4関連疾患の病因・病態を考える－IgG4関連呼吸器疾患から. *リウマチ科*. 2018; 60(4): 366-372.
- 2) 松井祥子. IgG4関連呼吸器疾患. *日本医師会雑誌*. 2018;147(2): 280-284.

【学会報告】

- 1) Matsui S, Okazawa S, Tokui K, Kambara K, Imanishi S, Taka C, Yamada T, Inomata M, Miwa T, Hayashi R, Tobe K. Allergy in IgG4-related disease. *AAAI/WAO Joint Congress 2018*; 2018 Mar2-5; Orlando.
- 2) Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Okazawa S, Tokui K, Taka C, Imanishi S, Kambara K, Ichikawa T, Inomata M, Hayashi R, The study group of IgG4-RD. Malignancies in patients with IgG4-related respiratory disease. *ATS 2018 International Conference*; 2018 May 18-23; San Diego.
- 3) Waseda Y, Matsui S, Yamada K, Mizuguchi

K, Watanabe S, Ito K, Zuka M, Malissen M, Kawano M, Ishizuka T. Evaluation of Lung Lesions in LATY136F Mutant Mice. *ATS 2018 International Conference*; 2018 May 18-23; San Diego.

- 4) 田中宏明, 徳井宏太郎, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 山田徹, 松井祥子, 多喜博文, 戸邊一之, 林龍二. 重症呼吸不全で発症し、多剤併用免疫抑制療法で救命し得た抗EJ抗体陽性急速進行性間質性肺炎の1例. 第234回日本内科学会北陸地方会; 2018Mar 18; 福井.
- 5) 早稲田優子, 松井祥子, 渡辺知志, 佐藤譲之, 杉山光寿, 中嶋康貴, 三ツ井美穂, 島田昭和, 園田智明, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 石塚全. Lat Y136F knock-inマウス (IgG4関連肺疾患モデルマウス) の肺病変の解析. 第58回日本呼吸器学会学術講演会; 2018Apr 27-29; 大阪.
- 6) 勢藤善大, 徳井宏太郎, 下川一生, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 市川智巳, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 林龍二, 戸邊一之. 気道狭窄、心尖部心室瘤, 多発肝腫瘍を伴った全身性サルコイドーシスの1例. 第41回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 2018 May 24-25; 東京.
- 7) 梶川清芽, 岡澤成祐, 勢藤善大, 平井孝弘, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 市川智巳, 戸邊一之, 山田徹, 林龍二, 松井祥子, 山本善裕. MACに準じた3剤治療で解熱が得られたMycobacterium Shimoidei感染症の1例. 第80回呼吸器合同北陸地方会; 2018 Jun 9-10; 金沢.
- 8) 岡澤成祐, 勢藤善大, 平井孝弘, 田中宏明, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 市川智巳, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 松井祥子, 戸邊一之. 実臨床上でメボリズマブを使用された重症気管支喘息患者背景と治療効果の検討. 第67回日本アレルギー

- 学会学術大会；2018Jun 22-24；千葉。
- 9) 今西信悟, 平井孝弘, 徳井宏太郎, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 猪又峰彦, 三輪敏郎, 戸邊一之, 山田徹, 林龍二, 松井祥子. ニボルマブ投与中に筋炎を発症し、筋生検を施行した肺扁平上皮癌の1例. 第73回日本肺癌学会北陸支部学術集会；2018Jul 7；金沢。
- 10) 並河大器, 岡澤成祐, 平井孝弘, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 三輪敏郎, 戸邊一之, 山田徹, 林龍二, 松井祥子. TS-1内服中にサイトメガロウイルス腸炎を発症した肺腺癌の1例. 第73回日本肺癌学会北陸支部学術集会；2018Jul 7；金沢。
- 11) 松井祥子, 篠田晃一郎, 岡澤成祐, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 今西信吾, 猪又峰彦, 多喜博文, 戸邊一之. 診断後に経過観察を行ったIgG4関連疾患の転帰. 第27回日本シェーグレン症候群学会学術集会；2018 Sep 14-15；小倉。
- 12) 岡澤成祐, 平井孝弘, 田中宏明, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 山田徹, 林龍二, 松井祥子, 傍島光男, 戸邊一之. オシメルチニブ再投与により繰り返し心不全をきたした肺腺癌の1例. 第81回呼吸器合同北陸地方会；2018 Oct 27-28；福井。
- 13) 徳井宏太郎, 平井孝弘, 田中宏明, 下川一生, 高千紘, 岡澤成祐, 神原健太, 今西信悟, 山田徹, 三輪敏郎, 松井祥子, 猪又峰彦, 戸邊一之, 林龍二. 肺Mycobacterium shinjukuense感染症の1例. 第81回呼吸器合同北陸地方会；2018Oct 27-28。
- 14) 岩田 実, 高倉一恵, 野口寿美, 松井祥子, 山本善裕. 本学学生におけるBMI分類ごとの血圧、生活習慣病の特徴. 第56回全国大学保健管理研究集会；2018 Oct 3-4；東京。
- 15) 中川圭子, 宮田留美, 松井祥子. 入学時および就学2ヶ月後の健康調査の有用性. 第56回全国大学保健管理研究集会；2018 Oct 3-4；東京。
- 16) 木戸敏喜, 松井祥子, 平井孝弘, 大村佳之, 川高正聖, 奥村麻衣子, 津田玲奈, 朴木博幸, 篠田晃一郎, 多喜博文, 戸邊一之. 治療経過中発症した副鼻腔炎の鑑別を要した中耳炎先行の多発血管炎性肉芽腫症の一例. 第38回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会；2018 Nov 2-3；東京。
- 17) 山本 洋, 安尾将法, 小松雅宙, 曾根原圭, 市山崇史, 立石一成, 牛木淳人, 漆畑一寿, 花岡正幸, 川上 聡, 堀 敦詞, 上原 剛, 浜野英明, 川 茂幸, 松井祥子. サルコイドーシスのBAL液中各種メディエーターの解析. 第38回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会；2018 Nov 2-3；東京。
- 【その他】
- 1) 松井祥子. IgG4関連疾患の呼吸器診断基準. 厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「IgG4関連疾患並びに治療指針の確立を目指した研究」平成29年度 研究成果報告書。
- 2) 松井祥子. 呼吸器領域分科会報告. 厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「IgG4関連疾患並びに治療指針の確立を目指した研究」班（岡崎班）第1回合同班会議；2018 Dec 14；京都。
- 3) 松井祥子, 猪又峰彦, 岡澤成祐, 平井孝弘, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 高千紘, 神原健太, 今西信悟, 山田徹, 三輪敏郎, 林龍二, 篠田晃一郎, 多喜博文, 戸邊一之. IgG4関連疾患とアレルギー. 第11回IgG4研究会. 2018 Mar 10；松本。
- 4) 松井祥子. アスピリン喘息 西能病院2018 Nov 14；富山。
- 5) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 東部中学校；2018 Jul 6；富山。
- 6) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 早月中学校；2018 Jul 11；富山。
- 7) 松井祥子. タバコと健康. 青少年健康づくり支援事業 西部中学校；2019 Jan 22；富山。

西 村 優 紀 美

【著書】

- 1) 西村優紀美 (2018) 合理的配慮に基づく大学生への支援. 教育と医学66-11,74-81.
- 2) 西村優紀美 (2018) 2.5.1 実習における支援の実際1(発達障害). 竹田一則編著 よくわかる! 大学における障害学生支援. 株式会社ジアース教育新社, 73-79.
- 3) 西村優紀美 (2018) 第6章大学進学への移行支援. 松村暢隆編著 2 E 教育の理解と実践. 金子書房, 95-104.

【学会、研究会等における学術講演】

- ①西村優紀美：高等教育における障がい学生支援～発達障害・精神障害のある学生への支援の在り方. 鹿屋体育大学FD研修会. 2018.1.24. 鹿児島.
- ②西村優紀美：障がい学生の支援体制の構築と合理的配慮の探求. 島根県立大学学生相談研修会. 2018.1.31. 島根.
- ③西村優紀美：発達障害生徒に対する支援. 和光高等学校校内研修会. 2018.3.15. 埼玉県.
- ④西村優紀美：発達障害学生に対する合理的配慮のあり方. 日本学生相談学会第36回大会ワークショップ. 2018.5.19. 神奈川県.
- ⑤桶谷文哲・西村優紀美・日下部貴史・曾我有可・盤若郁子：発達障害学生に対する意思表示支援のあり方に関する一考察. 全国高等教育障害学生支援協議会第4回大会ポスター発表. 2018.6.29.
- ⑥西村優紀美：発達障害学生の安定した学修を保障する修学支援～修学支援と心理サポート～. 平成30年度第56回全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会. 2018.7.26. 静岡.
- ⑦西村優紀美：発達障害の児童生徒支援－合理的配慮の基本理解－. 野々市市教育センター主催. 対応力・指導力向上研修（発達障害）. 2018.8.22. 石川.
- ⑧西村優紀美：学習課題を抱えた学生に対する支援の在り方～支援ニーズの把握と支援プロセス～. 福岡大学医学部看護学科FD研修会. 2018.9.13. 福岡.
- ⑨西村優紀美・桶谷文哲・日下部貴史・荒木史代：自主シンポジウム「発達障害学生の移行期の支援について～高等学校から大学へのつなぎを支援する～」2018.9.22. 大阪.
- ⑩西村優紀美：第6回 成人発達障害支援研究会シンポジウム②発達障害を有する大学生（中退者、引きこもりを含む）への支援～診察室だけでは限界のある人たちへのアプローチ～「富山大学における障害学生支援の意義と実際」2018.10/27. 北海道.
- ⑪西村優紀美：富山市立堀川南小学校教育講演会「思春期の育ちと子どもへの接し方～個性的な子どもの育ちから学ぶ～」2018.11.16. 富山.
- ⑫西村優紀美：平成30年度 昭和女子大学教職員対象障がい学生支援研修会「発達障害学生支援の実際」2018.11.21. 東京.
- ⑬西村優紀美・桶谷文哲・日下部貴史・アスカ：日本LD学会第27回大会, 自主シンポジウム、発達障害学生に対する「学ぶ・働く」を支える支援の在り方～適切な配慮とセルフ・アドボカシー～. 2018.11.23. 新潟.
- ⑭西村優紀美：平成30年度全国障害学生支援セミナー 専門テーマ別セミナー. 発達障害学生の就労を実現するための支援の在り方～意思表示支援とセルフアドボカシーを中心に～ 基調講演Ⅰ 発達障害学生の就労を実現するための支援の在り方. 2018.12.5. 東京.
- ⑮西村優紀美：関西大学人権問題研究室特別講演会「発達障害学生の学修を保障する支援のあり方」2018.12.7. 大阪.

【社会活動】

- ・全国高等教育障害学生支援連絡協議会 理事
- ・独立行政法人日本学生支援機構障害学生支援委員会 委員

・石川県教育委員会 平成29年度生徒指導・発達障害サポートチーム 委員

10) 西村優紀美：障害学生に対する合理的配慮の

提供プロセスについて、平成28年度東海・北陸地区国立高等専門学校厚生補導関係主事及び学生課長会議学生支援

竹 澤 みどり

【論文】

- 1) 竹澤みどり・松井めぐみ 2018 情報通信技術を用いた親密なパートナーからの暴力尺度作成および性差の検討 学園の臨床研究, 17, 15-25.
- 2) 竹澤みどり・喜田裕子 2018 学生なんでも相談窓口における相談支援活動評価のための成果カテゴリー作成の試み 学園の臨床研究, 17, 27-34.

【学会発表】

- 1) 竹澤みどり・松井めぐみ 2018 交際相手への暴力加害に及ぼす暴力許容度の影響—情報

通信技術を用いた交際相手への暴力— 日本健康心理学会第31回大会, KPB07.

- 2) 宮前淳子・竹澤みどり・宇井美代子・寺島瞳・松井めぐみ 2018 IPV(Intimate partner violence)による被害経験と交際期間および居住形態との関連 健康心理学会第31回大会, KPB23.
- 3) 宇井美代子・宮前淳子・松井めぐみ・竹澤みどり・寺島瞳 2018 IPV(Intimate partner violence)による被害経験とジェンダー観 日本心理学会第82回大会, 2AM-130.

杉谷キャンパス

教 授 (併)	山本 善裕	Yoshihiro Yamamoto
准 教 授	岩田 実	Iwata Minoru
看 護 師	高倉 一恵	Kazue Takakura
看 護 師	野口 寿美	Hitomi Noguchi
臨床心理士(非常勤)	佐野 隆子	Takako Sano
臨床心理士(非常勤)	小倉悠里子	Yuriko Ogura
臨床心理士(非常勤)	柴野 泰子	Yasuko Shibano

【原著】

- 1) Iwata M, Hara K, Kamura Y, Honoki H, Fujisaka S, Ishiki M, Usui I, Yagi K, Fukushima Y, Takano A, Kato H, Murakami S, Higuchi K, Kobashi C, Fukuda K, Koshimizu Y, Tobe K. Ratio of low molecular weight serum adiponectin to the total adiponectin value is associated with type 2 diabetes through its relation to increasing insulin resistance. PLoS One. 2018 Mar 1;13(3):e0192609.
- 2) 岩田 実. 糖尿病家族歴は 2 型糖尿病においてインスリン分泌能低下と関連する. 学園の臨床研究. 2018 ; 17 : 1-4 岩田 実.

【総説】

- 1) 岩田 実 各種難病の最新治療情報 間脳下垂体機能障害 難病と在宅ケア 2018; Vol.24 No.8: 53-57

【学会報告】

- 1) 朴木久恵, 岩田 実, 上野麻子, 渡邊善之, 中嶋 歩, 岡部圭介, 角 朝信, 瀧川章子, 藤坂志帆, 石木 学, 八木邦公, 戸邊一之. 発症 24 年後にカベルゴリンを投与し血糖コントロールが良好となった末端肥大症の 1 例. 第 91 回日本内分泌学会学術総会; 2018 Apr 26-28 ; 宮崎.
- 2) 渡邊善之, 佐野 功, 大村佳之, 上野麻子, 中嶋 歩, 角 朝信, 岡部圭介, 瀧川章子, 藤

坂志帆, 朴木久恵, 石木 学, 岩田 実, 八木邦公, 戸邊一之. 無症候性の褐色細胞腫の一例. 第 91 回日本内分泌学会学術総会; 2018 Apr 26-28 ; 宮崎

- 3) 岩田 実, 加村 裕, 朴木久恵, 渡邊善之, 中嶋 歩, 北野香織, 上野麻子, 岡部圭介, 角朝信, 瀧川章子, 藤坂志帆, 石木 学, 福田一仁, 八木邦公, 戸邊一之. アディポネクチン三分画とメタボリック症候群の関連性の検討. 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26 ; 東京.
- 4) 朴木久恵, 岩田 実, 上野麻子, 渡邊善之, 中嶋 歩, 角 朝信, 岡部圭介, 瀧川章子, 藤坂志帆, 加村 裕, 福田一仁, 石木 学, 八木邦公, 戸邊一之. 2 型糖尿病患者におけるインクレチン関連薬使用中的 CPI (F-CPR/F-BS \times 100) の変化. 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26 ; 東京.
- 5) 中嶋 歩, 角 朝信, 上野麻子, 渡邊善之, 朴木久恵, 藤坂志帆, 岩田 実, 八木邦公, 戸邊一之. 入院下での強化インスリン療養 1 年後の治療を予測するために最も有用なインスリン分泌指標についての検討. 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26 ; 東京.
- 6) 渡邊善之, 大村佳之, 桑野剛英, 佐野 功, 上野麻子, 中嶋 歩, 角 朝信, 岡部圭介, 瀧川章子, 朴木久恵, 藤坂志帆, 加村 裕, 石木 学, 岩田 実, 八木邦公, 戸邊一之. ステロイド使用時における血糖変動とインスリン

- 分泌能の関連. 第61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26; 東京.
- 7) 上野麻子, 角 朝信, 朴木久恵, 大村佳之, 桑野剛英, 佐野 功, 中嶋 歩, 渡邊善之, 岡部圭介, 瀧川章子, 藤坂志帆, 石木 学, 岩田 実, 和田 努, 笹岡利安, 八木邦公, 戸邊一之. 高齢者における外来での随時CPI を用いたインスリン治療の必要性の評価. 第61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26; 東京.
 - 8) 桑野剛英, 朴木久恵, 上野麻子, 渡邊善之, 中嶋 歩, 角 朝信, 岡部圭介, 福田一仁, 藤坂志帆, 石木 学, 岩田 実, 八木邦公, 薄井 勲, 戸邊一之. 2 型糖尿病患者における持続血糖測定での血糖変動と糖尿病関連の指標との解析. 第61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26; 東京.
 - 9) 佐野 功, 大村佳之, 中嶋 歩, 角 朝信, 朴木久恵, 石木 学, 岩田 実, 八木邦公, 戸邊一之. カベルゴリン治療により耐糖能異常が改善したプロラクチノーマの一例. 第61 回日本糖尿病学会年次学術集会; 2018 May 24-26; 東京.
 - 10) 朴木久恵, 八木邦公, 稲川慎哉, 圓角麻子, 桑野剛英, 西村 歩, 渡邊善之, 角 朝信, 岡部圭介, 瀧川章子, 藤坂志帆, 石木 学, 岩田 実, 手丸里恵, 戸邊一之. カベルゴリン治療によってHbA1c、肥満が改善した2 型糖尿病合併のプロラクチノーマの1 症例. 第39 回日本肥満学会; 2018 Oct 7-8; 神戸.
 - 11) 岩田 実, 朴木久恵, 圓角麻子, 瀧川章子, 渡辺善之, 西村 歩, 桑野剛英, 角 朝信, 岡部圭介, 藤坂志帆, 石木 学, 八木邦公, 戸邊一之. 縦隔内まで進展し気管の圧迫を認めた巨大腺腫様甲状腺腫の1 例. 第28 回臨床内分泌代謝Update; 2018 Nov 2-3; 福岡.
 - 12) 八木邦公, 朴木久恵, 圓角麻子, 瀧川章子, 稲川慎哉, 桑野剛英, 渡邊善之, 西村 歩, 角 朝信, 岡部圭介, 藤坂志帆, 石木 学, 岩田 実, 戸邊一之. 手術加療を要した甲状腺機能亢進症5 症例の心電図所見の検討. 第28 回臨床内分泌代謝Update; 2018 Nov 2-3; 福岡.
 - 13) 岩田 実, 高倉一恵, 野口寿美, 松井祥子, 山本善裕. 本学学生におけるBMI分類ごとの血圧、生活習慣の特徴. 第56回全国大学保健管理研究集会; 2018 Oct 3-4; 東京.
- 【その他】**
- 1) 岩田 実. 糖尿病慢性合併症1 (腎症、末梢神経障害、網膜症). 2018年度とやま糖尿病療養指導士認定研修会; 2018 Aug 25; 富山.
 - 2) 圓角麻子, 朴木久恵, 米田徳子, 稲川慎哉, 桑野剛英, 西村 歩, 渡邊善之, 角 朝信, 岡部圭介, 瀧川章子, 藤坂志帆, 石木 学, 岩田 実, 八木邦公, 齋藤 滋, 戸邊一之. 第一子の妊娠糖尿病の管理に必要であった34 単位のインスリンが、第二子妊娠時には不要であった一例. 第97 回北陸糖尿病集談会; 2018 Dec 8; 金沢.
 - 3) 岩田 実. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 7. 各種インスリン製剤の適応と使用方法. 看護師特定行為研修区分別科目eラーニング; 2018 Jan 21; 東京.
 - 4) 岩田 実. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 8. 各種インスリン製剤の副作用. 看護師特定行為研修区分別科目eラーニング; 2018 Jan 21; 東京.
 - 5) 岩田 実. 疾病の病態と臨床診断・治療の概論 糖尿病. 看護師特定行為研修区分別科目eラーニング; 2018 Feb 23; 富山.

高岡キャンパス

支 所 長 (併 任)	中村 滝雄	Takio Nakamura (～ H30.3.31)
分 室 長 (併 任)	堀江 秀夫	Hideo Horie (H30.4.1 ～ H30.12.31)
内 科 医 (准 教 授)	中川 圭子	Keiko Nakagawa
看 護 師	宮田 留美	Rumi Miyata
臨床心理士(非常勤)	柴野 泰子	Yasuko Shibano
臨床心理士(非常勤)	大浦 暢子	Nobuko Oura
臨床心理士(非常勤)	小倉悠里子	Yuriko Ogura

中 川 圭 子

【論文】

- 1) Tanaka S, Hirai T, Inao K, Fukuda N, Nakagawa K, Inoue H, Kinugawa K. High Cardiac Troponin I Is Associated With Transesophageal Echocardiographic Risk of Thromboembolism and Ischemic Stroke Events in Non-Valvular Atrial Fibrillation Patients. Circ J 2018; 82(6):1699-1704.
- 2) 中川圭子、宮田留美、松井祥子：入学時および就学 2 ヶ月後の健康調査の有用性の検討．第56回全国大学保健管理研究集会．2018,10,3-4, 東京．
- 3) 田中修平、平井忠和、福田信之、稲尾杏子、中川圭子、絹川弘一郎：心房細動患者の大動脈硬化度とバイオマーカーとの関連について．第66回日本心臓病学会学術集会．2018,9,7-9,9, 大阪．

【学会報告】

- 1) 中川圭子、平井忠和、福田信之、田中修平、稲尾杏子、絹川弘一郎：長期観察し得た非弁膜症性心房細動例のイベント発症リスクの検討．第136回日本循環器学会北陸地方会，2018,7,8, 富山．

【その他】

- 1) 中川圭子．タバコの害と禁煙について．射水市立下村小学校；2018 1, 富山．
- 2) 季刊 『ほけかん』No.68 <光療法ははじめました> そのお困り、ひかって解消．2018,3.